

# 三番瀬・海辺のボランティア講座 「アマモ場観察会 & 干潟のいきもの調べ」

2010年6月26日(土)

場所／市川市三番瀬塩浜案内所 三番瀬東浜

## <スケジュール>

- 9 : 0 0 開会
- 9 : 3 0 干潟で観察会&いきもの調べ
- 1 2 : 0 0 昼食、休憩
- 1 3 : 0 0 ソーティング体験
- 1 5 : 0 0 終了

主催／特定非営利活動法人 三番瀬環境市民センター

# No. 6 ひがた かんさつ 干潟のいきものを観察しよう

2010.06.26 ひがた かんさつ  
干潟という環境と、そこに住む生物について知ろう

## ① ひがたかんさつ 干潟観察のコツ

ひがた ある さかな かい とり  
干潟を歩くと、魚や貝、カニ、鳥とたくさんのいきものと出会うことができます。ただ  
ひがた  
干潟のいきものたちは、ちょっと地味で引っ込み思案だから、慣れていないとどこに隠れ  
ているかわからないかもしれません。観察のコツを覚えましょう。

### ■ ひがた うえ 干潟の上

しお ひ ひがた ひょうめん み くろ なみ もよう はもん つづ  
潮が引いた干潟の表面をよく見てみましょう。黒い波のような模様の波紋が続いていま  
す。ゼリーのようなプルンとした物体や、モンブランケーキのような砂のかたまりがあり  
ませんか？ これはゴカイの卵とふんです。干潟の上で動いているのはヤドカリ？ それ  
ともヤドカリ、あるいはアラムシロガイかな？ 穴があいていたり、砂が盛り上がって  
いるのは生物がいる証拠。シャベルで掘ってみよう。貝やゴカイはいないかな？

### ■ ぼう くい じんこうぶつ 棒、杭など人工物

ひがた  
干潟にはよく棒や杭などが立っています。そこには堅い物にくっついて生活するフジツボ  
やムラサキイガイ、マガキ、タテジマイソギンチャクなどがいます。

### ■ しお 潮だまり

ひがた ところどころ みず のこ しお なか に おく こざかな  
干潟の所々にまだ水が残っている潮だまりがあります。この中には逃げ遅れた小魚やエ  
ビ・カニの仲間が潜んでいます。そっとのぞいてみてください。ハゼやボラ、イシガレイ  
の稚魚がいませんか？ オゴノリやアマモなどの周辺にもいろんな生物がいます。

### ■ すいめん とお ひがた 水面、遠くの干潟

すこ とお み すいちゆう さかな  
少し遠くを見てみましょう。水中からジャンプしている魚はいませんか？ カワウの大  
ぐん うみ  
群が泳いでいませんか？ 海にダイビングしているコアジサシがいませんか？

## ② 危険ないきもの



アカエイ



アカクラゲ



三番瀬・海辺のボランティア講座 第4回報告書

三番瀬観察会&干潟のいきもの調べ

1. 日時、場所

実施日／平成22年6月26日(土)

時間／9:00～15:00

場所／三番瀬東浜、三番瀬塩浜案内所

2. 参加者

海辺のボランティア 14名

NPO三番瀬 9名

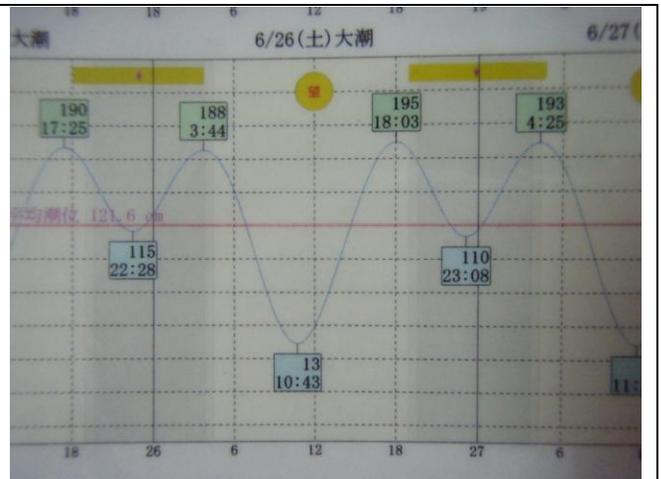
3. スケジュール

時間	内容
9:00	集合 事前レクチャー
9:15	三番瀬東浜へ移動 アマモワークショップ
10:15	干潟観察会&調査
12:00	三番瀬塩浜案内所へ移動 昼食、休憩
13:00	ソーティング
15:00	解散

4. 当日の様子



事前のレクチャー



大潮で干潟観察には最高の潮です



干潮時には広い干潟が出現しました



何がいたかな？



貝やゴカイ、エビ・カニの仲間などがいました



干潟とカキが群生している所と、2ポイントでいきもの調査をやりました



1 mの枠の中に何がいますか調べました



干潟を掘って砂の中にも調べました



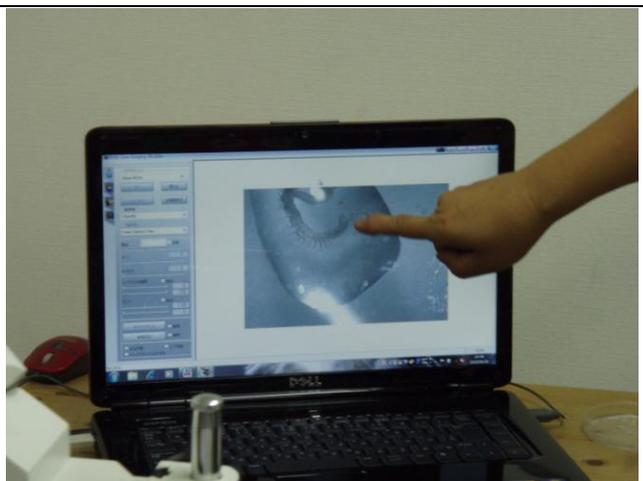
コアサンプラーで砂を採取し、持ち帰りました



砂の中にいた生物をすべて拾い出します



生物を分類します



肉眼で見分けがつかない時は顕微鏡で確認する



種類ごとに数を数え、重さを量って記録します



拾い分けた生物はアルコールに漬けて、保存します

## 調査のまとめ

### 1. 調査日

2010年6月26日(土)

### 2. 調査地

東京湾三番瀬 東浜(ふなばし三番瀬海浜公園西側)

ポイントA	ポイントB
緯度 N35d 40m 6.12s 経度 E139d 57m 44.74s	緯度 N35d 40m 9.65s 経度 E139d 57m 44.13s
	

### 3. 調査者

#### ・三番瀬海辺のボランティア

石川大貴 大谷浩人 大谷みなつ 岡田英昭 金光なつき 金光みさと  
金光弥思 小池理恵 小池峻太 小池美麻 小林邦彦 樽本久子 原陽一  
内藤誠二郎

#### ・特定非営利活動法人 三番瀬環境市民センター

安達宏之 石塚誠 小川洋 清積庸介 野口真利江 野村隆史 福士融  
和田信行 町田恵美子

### 4. 調査方法

#### ・干潟で観察した生物の種類を調べた

・調査ポイントを1箇所決め、1mの枠を置いて、その中で観察できる生物の種類と数、また生物の活動の痕跡の種類と数を調べた(表面調査)。その後スコップを使って深さ20cmまで掘り、砂の中から出てきた生物の種類と数を調べた(掘り返し調査)。この調査を2回行った

・調査ポイントを1箇所決め、それぞれで直径10cmのコアサンプラーで30cmまでの採泥を3回行い、1mm目のふるいでふるい、残った生物を採取した

※採集した生物は、ソーティング(拾い出しと分類)して、NPO三番瀬が標本にして、同定(生物の名前をつけること)と定量(数を数えて、重さを量ること)をした。



表面調査



掘り返し調査



きちんと記録をとった



コアサンプラーによる採泥

調査場所 市川市東浜

調査ポイントB



緯度 N35d 40m 9.65s  
経度 E139d 57m 44.13s

プランクトン採取ポイント

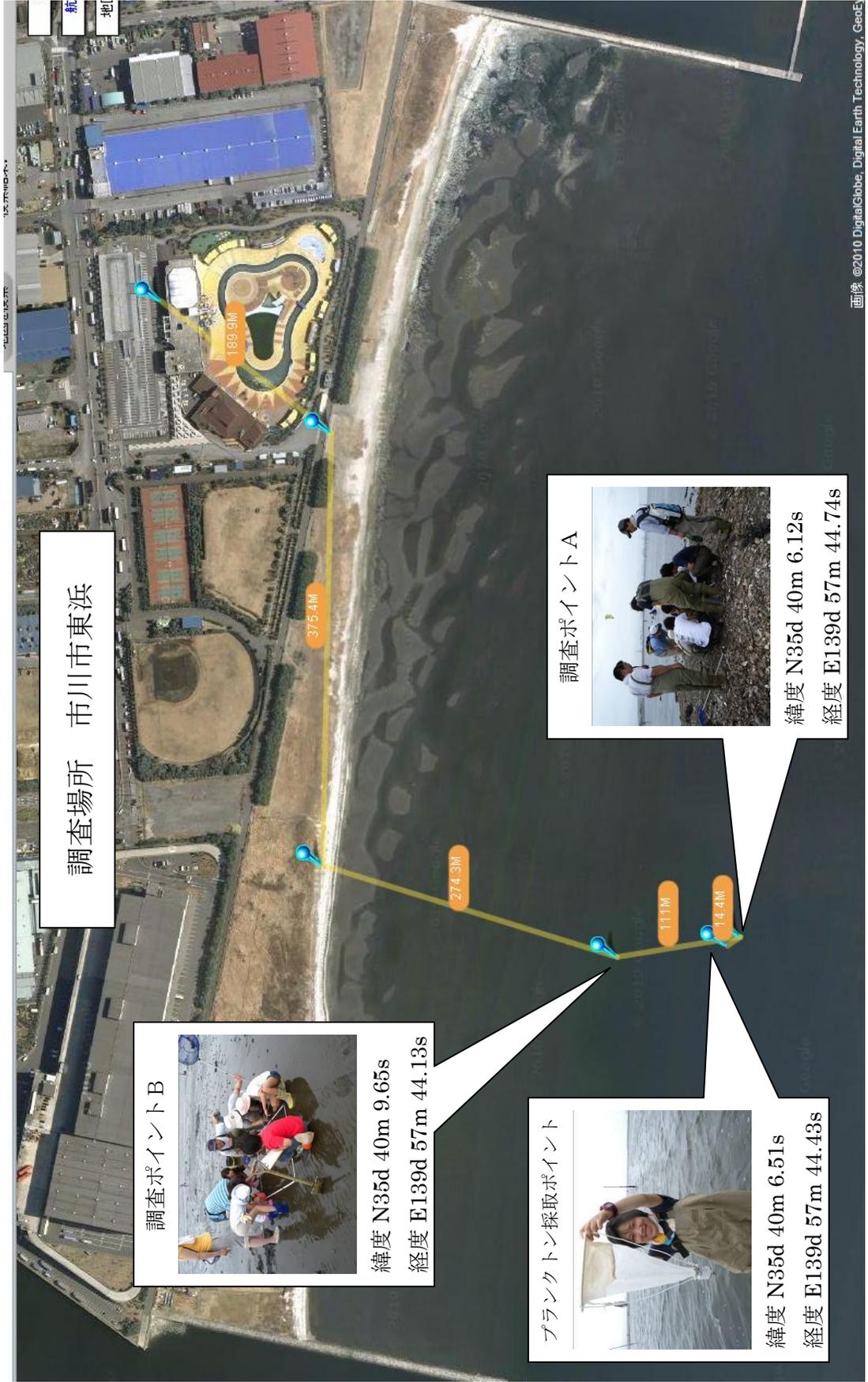


緯度 N35d 40m 6.51s  
経度 E139d 57m 44.43s

調査ポイントA



緯度 N35d 40m 6.12s  
経度 E139d 57m 44.74s



<b>観察できた生物</b>	
エビ・カニのなかま	
	コメツキガニ
	マメコブシガニ
	イソガニ
	ケフサイソガニ
	イシガニ
	ユビナガホンヤドカリ
	ユビナガスジエビ
	ニホンスナモグリ
	オサガニ
	ヨコエビの一種
巻き貝のなかま	
	アラムシロ
	アカニシの卵のう
二枚貝のなかま	
	アサリ
	シオフキ
	マテガイ
	カガミガイ
	ホンビノス
	ムラサキイガイ
	マガキ
	シマメノウフネガイ
	オキシジミ
	サビシラトリ
イソギンチャクの仲間	
	タテジマイソギンチャク
	イソギンチャクの一種
ホヤの仲間	
	ホヤの一種
クラゲのなかま	
	ミズクラゲ
ゴカイのなかま	
	タマシキゴカイ
	チロリ
	イトゴカイ
	エゾカサネカンザシ
	スゴカイイソメ
海藻のなかま	
	アナアオサ
	オゴノリ
	ハネモ
	イギス
	アマモ(浮遊)
	コアアマモ(浮遊)
魚の仲間	
	マハゼ
	エドハゼ
	トサカギンポ
	ボラ



表面調査、掘り返し調査

調査ポイントA

天気／くもり 気温／ 水温／

	1回目	2回目	3回目	4回目	合計
<b>表面調査</b>					
イソガニ	1				1
ケフサイソガニ	9	4			13
ヤドカリの一種	28	27		20	75
カニの一種			9		9
アサリ	3			9	12
ムラサキイガイ		8	29		37
ミズクラゲ		1			1
イソギンチャクの一種	1	98	14		113
ホヤの一種		2			2
ウロコムシの一種	1				1
アナアオサ		1	1		2
オゴノリ		2	1		3
<b>掘り返し調査</b>					
アサリ	1	1	1	1	4
ケフサイソガニ	2	1			2
ヤドカリ				2	2
ユコエビ		1			1
フジツボの一種			1		1
タテジマイソギンチャク		1			1
ホヤの一種	2				2
多毛類の一種	1				1
ゴカイ？		1	2	1	4
タマシキゴカイ		2		3	5
ミズヒキゴカイ		1			1
イトゴカイ		1			1

調査ポイントB

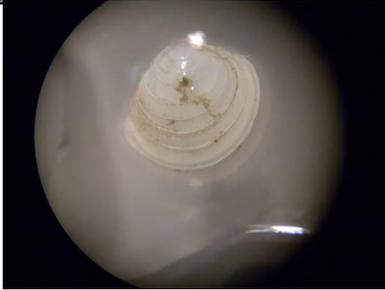
天気／くもり 気温／25℃ 水温／27℃

	1回目	2回目	3回目	4回目	合計
<b>表面調査</b>					
アサリ			1		1
ハマグリ?				1	1
アラムシロ	11		10	4	25
ユビナガホンヤドカリ			1		1
ナマコ				1	1
ゴカイの卵のう				1	1
ゴカイの糞塊	2	11	4	4	21
穴	6	6	9	18	39
海藻の一種	1				1
オゴノリ	1				1
<b>掘り返し調査</b>					
アサリ		1			1
シオフキ			1		1
タマシキゴカイ	1		1	1	3
チロリ	2	1	1		4
ゴカイの一種		1		3	4

## 採泥調査

## 出現種

		ポイントA		ポイントB	
		個体数	湿重量(g)	個体数	湿重量(g)
貝の仲間	アサリ	6	10.214	1	0.45
	カガミガイ	1	4.129	1	0.02
	シオフキ			4	0.14
	マテガイ			2	0.028
エビ・カニの仲間	タカノケフサイソガニ	1	0.806		
	イソガニ科の一種	3	0.012		
	ユビナガホンヤドカリ	5	2.247		
その他の生き物	メリタヨコエビ科の一種	9	0.9		
	ドロクダムシ科の一種	1	0.0001未満		
	トビムシ(粘管目)の一種	12	0.0001未満		
	扁形動物の一種			2	0.04
ゴカイの仲間	ミズヒキゴカイ	18	1.391		
	アシナガゴカイ	2	0.077	9	3.31
	ゴカイ科の一種	1	0.054	1	0.05
	イトゴカイの一種一種	1	0.003	1	0.001以下
	スピオ科の一種	9	0.003	10	0.001以下
	多毛類の一種	1	0.0001未満		
	シリス科の一種			1	0.02
	チロリ			3	0.1

	<p>アサリ</p>
	<p>カガミガイ</p>
	<p>シオフキ</p>
	<p>マテガイ</p>
	<p>タカノケフサイソガニ</p>
	<p>ユビナガホンヤドカリ</p>

	<p>メリタヨコエビ科の一種</p>
	<p>ドロクダムシ科の一種</p>
	<p>トビムシ(粘管目)の一種</p>
	<p>扁形動物の一種</p>
	<p>ミズヒキゴカイ</p>
	<p>アシナガゴカイ</p>

	<p>ゴカイ科の一種</p>
	<p>イトゴカイの一種一種</p>
	<p>スピオ科の一種</p>
	<p>多毛類の一種</p>
	<p>シリス科の一種</p>
	<p>チロリ</p>